

# スキップ

No.29

2012年4月6日

J R 東海労働組合

春の闘いシリーズ⑥

**「過度な励ましは本人の負担になる！」「プロになれないなら辞めればいいじゃん！」（ユニオン役員）**

## これがユニオン役員の正しい道なの？

2月9日開催されたJ R 東海ユニオン第26回定期中央委員会で、名古屋選出中央委員は、「昨年10月、名古屋駅分会で入社4年目の組合員がJ R 東海労に加入するという残念な事態を発生させてしまった。彼は繰り返し休職していたが、一般的に休職者はメンタルヘルスの問題で過度な励ましは本人の負担になる恐れもあり、彼に対しても踏み込んだコミュニケーションはしてこなかった」（「旬刊『ACCESS』第323・324合併号」）と発言しています。

この発言の主は恐らく当該の名古屋駅分会役員だと思いますが、「残念な事態を発生させてしまった」と結果しか述べていません。何故、Mさんが休職を繰り返したのか、J R 東海労に加入したのか、原因に全くふれていません。「過度な励ましは本人の負担」とは責任放棄も甚だしく、開いた口がふさがりません。

### 許せないユニオン役員の嫌がらせ！

Mさんは名古屋駅時代に、元ユニオン役員から「プロになれないなら辞めればいいじゃん」と遠巻きに言われたり、休職時に給与控除で困っていても、ユニオン総合共済の給付を教えてもらえませんでした。

松尾委員長は、新年の挨拶で「去年は名古屋で残念な事態が発生し、誤った道から取り戻す」と述べています。これを知ったMさんは、「J R 東海労に相談せずに退職することが正しい道なのか」「こんな組合（ユニオン）出て行くのは残念でもなんでもない、当然のこと」と、怒りを露わにしています

労働組合の取るべき正しい道は、組合員の意見・悩みに向き合うことです。役員の仕事は、日常の目配り、気配りです。悩みや不満をJ R 東海労の組合員に相談しましょう！

**皆さん、JR東海労HPを見ましょう！**

J R 東海労

検索